

最上川フットパス新ルート完成

平成22年7月、長井市河井地区に新たなフットパスが完成しました。
フットパスの整備は、河川と市街地の融合を図る「かわまちづくり支援事業」の一環として進められてきたもので、フットパス「最上川発祥の地ルート」の一部となります。
今回完成したルートは、かつて国(旧建設省)が河井山狭窄部を拡張する工事を行ったときに土砂を運び出した、トロッコ道の跡地に再現されたものです。

長井市のフットパスの詳細やこのほかのルートについてはこちらまで
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/footpath/nagai/index.html>



7月10日には地元住民の皆さんによる開通式、歩き初めが行われました。



トロッコ道

愛宕山、河井山、今泉山の間を流れる長井市河井地区の松川(現在の最上川)。置賜白川との合流点より上流は川幅が狭く、かつては豪雨や融雪のたびに上流が氾濫。住民は大変な被害を受けていました。

そのため昭和25~36年、狭窄部を拡張する河井山掘削工事が行われました。硬い岩を掘削する難しい工事だったといわれます。トロッコ道とはこの工事で発生した土砂を運び出すために設置されたトロッコ線路跡です。